

ウミガラス

学名: *Uria aalge inornata*
絶滅危惧種IA類（環境省レッドリスト）

オロロン鳥の愛称で親しまれるウミガラス。北半球に広く分布しているウミスズメ科の海鳥で、日本では唯一天売島のみで繁殖しています。



かつては、松前小島やユリ島、モユリ島などの離島でも繁殖していました。

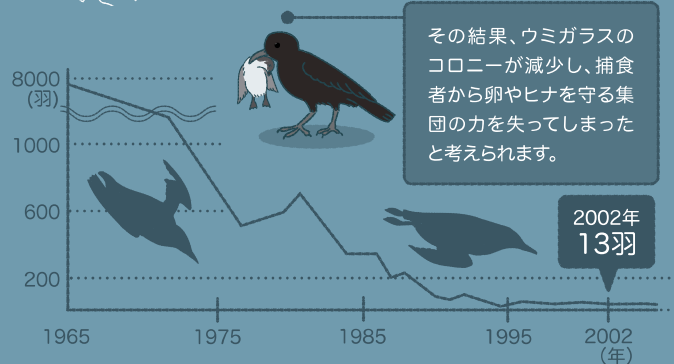
春になると天売島へ飛来し、海岸に連なる断崖の狭い窪みを利用して繁殖しています。そして、7月下旬頃になるとヒナとともに島を離れていきます。

天売島のウミガラスの減少

天売島のウミガラスは、1963年には約8000羽が飛来していましたが、その後2002年には13羽と激減しています。



そのきっかけとして、餌環境の変化や1960年代から70年代にかけて島の周辺で盛んだった「サケ・マス流し網漁」などがあります。いくつかの要因が重なりウミガラスは個体数を減らしてしまいました。



その結果、ウミガラスのコロニーが減少し、捕食者から卵やヒナを守る集団の力を失ってしまったと考えられます。

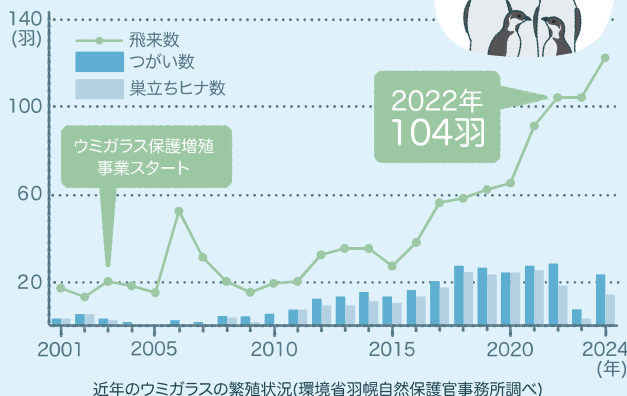
2002年
13羽

ウミガラス保全のこれから

過去に天売島で繁殖していたウミガラスの数と比べると依然として個体群は小さい状況です。そのため、今後も誘引対策により繁殖数を増やしたり、捕食者からの影響を低減していく必要があります。環境省ではこれからも天売島のウミガラスが自然状態で繁殖していけるように地域住民や関係機関等と連携して取組を継続していきます。



これまでの取組の成果により、天売島に飛来するウミガラスは徐々に個体数を増やし、2022年には100羽を越えました。



北海道海鳥センター

環境省と羽幌町が協同で運営する日本で唯一の海鳥の専門施設です。ウミガラスをはじめ、海鳥に関する様々な展示物があり、楽しみながら海鳥の生態について学ぶことができます。



天売島の海鳥の最新情報

ウミガラスの保護活動や天売島の海鳥の最新情報は、北海道海鳥センターのホームページやSNSで随時更新をしています。右のQRコードより、アクセスしてご確認ください。

北海道海鳥センター
ホームページ



北海道海鳥センター
facebook



【作成】

北海道地方環境事務所 羽幌自然保護官事務所
〒078-4116 北海道苫前郡羽幌町北6条1丁目 電話/0164-69-1101

【協力】

羽幌町役場町民課環境衛生係 電話/0164-69-2080



ウミガラスの生態

現在、天売島でもウミガラスが繁殖しているのはこの場所だけです。捕食者からの被害を減らすために集団で営巣しています。

抱卵・繁殖

毎年1つがいだ1羽のヒナを育てます。繁殖する場所も決まっています。同じ場所を利用します。親鳥は交互にヒナに与える餌をとり外洋に出ています。

巣立ち

ヒナは崖から海上に飛び降りて外洋へ巣立っていきます。この時、親鳥は海上にいて、巣立つヒナと鳴き交わしています。

餌の獲り方

私たちが普段見ているウミガラスは海に浮いたり、空を飛んだりしていますが、餌を獲るときは空を飛ぶようにして泳いで魚をとらえます。

採餌

ウミガラスは60~70mほどの深さを潜水して魚をとらえることもあり、天売島では回遊性のイカナゴや、近年ではカジカやゲンギといった海底付近の魚も食べていることが分かってきています。

イカナゴ

カジカ

ウミガラスと天売島の海鳥たち

ウミガラスをはじめとした海鳥類は、赤岩展望台やフェリー航路で海上に浮かぶ様子を観察することができます。

黒と白のコントラストの強いウミガラスは、双眼鏡を使えば簡単に見分けることができます。

人と海鳥が共生する島

ウニ漁を行う磯舟の横を泳ぐウミガラスやケイマフリ。人と海鳥が共生する天売島ならではの光景です。

東側には、市街地や港、商店などがあり、人々の暮らしが営まれています。春から夏にかけて海鳥も繁殖期になり多くの人が行き交います。

天売島のウミガラスの繁殖地

赤岩展望台

赤岩

ウミガラスの繁殖地までは船で移動します。

ウミガラスを守る3つの取組

過去には地域住民や羽幌町、北海道によるデコイの設置なども行われ、2003年から環境省による取組がスタートしました。

デコイ(模型)

1 誘引対策

ウミガラスは集団で繁殖する海鳥です。そのため、自分の仲間がいると思ってもらうためにウミガラスのデコイ(模型)を設置したり、鳴き声を流したりしています。

音声装置

ハンターによる捕獲

2 捕食者対策

天売島のウミガラスはまだまだ数が少ないためハシブトガラスやオオセグロカモメといった捕食者に卵やヒナを食われてしまいます。そのため、エアライフルを用いた外敵の捕獲などを行っています。

プロのクライマー

3 モニタリング

ウミガラスは外敵に襲われづらかったり、ヒナがしっかりと巣立つことができるようにある程度の高さのある場所で営巣しています。モニタリングカメラはクライマーと連携して設置しています。

高さ25m

激減してしまったウミガラスを守るためにこれまでに色々な取組が行われてきました。

天売丸